



岩手大学農学部附属 動物病院

施工地／岩手県盛岡市上田3丁目18-8
竣工年月／平成25年3月
敷地面積／429.775m²
延床面積／1,923m²
構造／鉄筋コンクリート造2階建

高度獣医療を実現する 中核大学動物病院

国立大学法人岩手大学農学部附属動物病院は、獣医学教育の実践の場として家族とともに大切な動物たちの健康を守り、獣医学等の各種講演会や臨床検討会の開催を通じて臨床獣医師の卒後教育の場としての役割を果たしてまいりました。そのなか、急激に多様化する社会ニーズに応え「地域獣医療」をより一層充実し、専門性の高い人材の育成を推進するため、診療部門を大動物診療と小動物診療の二つに分離し、この度小動物診療専門の施設として新しい岩手大学動物病院を開院されました。

小動物を対象とする本施設は、猫や犬などの伴侶動物(ペット)を中心に、外来部門をはじめ手術室やCT撮影室を拡充し、最新機器の導入とスタッフの充実により、獣医療・教育をおこなう先導的な中心施設としての役割を担います。また改修される既存の動物病院は牛や馬などの産業動物(家畜)を対象に、専門スタッフによるきめ細やかな獣医療を提供し、東北地域の産業動物診療の拠点としての機能を果たします。



入院処置室



X線撮影室



CT撮影室

来院者を迎える高度医療環境

交通量が多い市道に面する本施設は街並みの景観形成に配慮しながら、大学キャンパス内の他施設との統制がとれたシンプルで機能的な外観とし、来院者を優しく迎え入れる明るく清潔感のある佇まいとしました。内部は落ち着いて受診していただけるよう温かみを与える木調を中心に、抗菌・耐薬品性に優れた仕上げ材を採用し清掃・メンテナンスの容易な計画として、維持管理に配慮する計画としてあります。また、将来の医療体制やニーズに柔軟に対応できるよう各室の間仕切壁は、レイアウト変更等に容易に対応する遮音性を確保した乾式間仕切壁としフレキシビリティのある長寿命な施設を目指しました。



エントランス



受付



診察室



待合室

平面図

